

会 議 録		令和6年2月15日作成	令和9年3月末日廃棄
会議名	京都府中京警察署協議会（令和5年度第4回）		
開催日	令和6年2月14日（水曜日）		
時 間	午後2時から同3時20分までの間（80分）		
場 所	京都府中京警察署 4階講堂		
出席者	岡見会長、西田副会長、岩井委員、足立委員、清水委員、長谷川委員、 中町委員、続委員、服部委員、杉下委員及び井山委員員 （欠席 馬場委員及び岩崎委員） 計11人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、 地域課長代理(管機)、管機小隊長、刑事課長、交通課長、警備係長及び 広聴・相談係長 計12人		
諮 問 事 項	1 令和5年中の犯罪発生状況について 2 令和5年中の交通事故発生状況について 3 令和6年能登半島地震に伴う警備活動の概要について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副会長 2 署長挨拶 3 協議 (1) 諮問事項説明 令和5年中の犯罪発生状況について～生活安全課長 【委員】 自転車盗の検挙数と自転車の返還数は、同数であると認識してよいか。 【警察】 自転車盗被疑者を検挙した場合は、被害者に還付することとなっている。乗り捨てされている被害自転車を発見した場合、防犯登録の照会を行い、被害届が提出されていない場合でも所有者を特定して還付する。したがって、必ずしも検挙と還付が同数となることはない。 【委員】 盗まれた自転車を所有者自身が発見した場合は自身で持ち帰ってもよいのか。 【警察】 被害品手配の解除をする必要があるので、最寄りの警察署、交番に申し出ていただきたい。		

会 議
内 容

【委員】被害届は提出していない中で、自身で発見した場合はどうすればよいのか。

【警察】他人の自転車と間違える可能性もあるので、その場合でも交番に申し出ていただき、防犯登録の照会を行って、本人のものであるかどうかの確認をさせていただく。

(2) 諮問事項説明

令和5年中の交通事故発生状況について～交通課長

【委員】運転免許証返納者数はどのくらいにのぼるか。また、どの年齢層が多いのか伺いたい。

【警察】ごく少数であると認識している。70から80歳代の高齢者による返納が多いという印象である。

認知機能検査を受検して成績が悪い場合は、医師による診断を受けなければならないが、診断の前に警察が本人、家族等と面談を実施する。家族は免許証を返納してほしいと希望されるが、本人はまだ運転できるとの認識があり、そのギャップが埋まらないことが返納につながっていないと思われる。返納するよう家族、特に孫から強く勧めていただくことは効果が高いと思われる。

【警察】返納が進まない理由の1つは、運転免許証は公的な身分証であり、返納により身分証がなくなるとの不安から返納が進まないものと思われる。この点についてはマイナンバーカードや申請した場合に交付される運転経歴証明書が、運転免許証に代わる身分証となり、解消につながるものと思われる。

また、もう1つの理由としては、公共交通機関の整備が進んでいない地方では、代替交通手段がないことが挙げられる。自治体等によっても異なるが、返納による様々な代替サービスを受けられるようにしているところもあると承知している。

運転免許証を返納されている方は、そもそも自動車を運転する機会が少ない方で、運転する必要がある方は返納されていないのが現状であると認識している。

【委員】信号も横断歩道もない堺町御池交差点の御池通を南北に横断する歩行者が多い。歩車分離信号の設置による対策をすることはできないか。

【警察】堺町御池交差点の東に位置する柳馬場御池交差点には、信号、横断歩道が設置されている。短距離間に信号を多く設置すると、運転手に混乱を及ぼすおそれがあり、交通事故の原因となる。広報啓発活動により乱横断をしないよう注意を呼び掛けていく。

(3) 諮問事項説明

令和6年能登半島地震に伴う警備活動の概要について～管機小隊長

会 議 内 容	4 事務連絡 令和6年度第1回中京警察署協議会は、令和6年6月に開催予定である。 以上
------------	---

第4回京都府中京警察署協議会の開催状況

